

愛西市特別職報酬等審議会会議録（概要）

会 議 名 称	第2回 愛西市特別職報酬等審議会
開 催 日 時	令和7年10月7日（火） 午前9時30分から午前11時25分まで
開 催 場 所	愛西市役所北館 3階 災害対策本部兼会議室
出 席 委 員	別紙のとおり
欠 席 委 員	
公開・非公開	公 開
傍 聴 人 の 数	0 人
審 議 事 項 等	（1）会議録署名者の決定について （2）愛西市特別職報酬等について （3）その他
審 議 経 過	別紙のとおり
会 議 資 料	会議次第 追加資料

愛西市特別職報酬等審議会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	千 頭 聡	
副 会 長	加 藤 保	
	垣 見 好 輝	
	加 藤 金 彦	
	後 藤 英一郎	
	小 林 秋 良	
	古 川 宏	
	松 永 恵美子	
	水 野 秀 俊	
	水 野 善 弘	

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部長	西 川 稔	
人事課長	加 藤 貴 也	
人事課課長補佐	大 平 剛 史	

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	1 開会 只今より、令和7年度第2回愛西市特別職報酬等審議会を開催します。 本日の傍聴者はありませんでした。
会長	2 あいさつ 第2回になりますが、本日の議論である程度答申の方向性を決めていければと思いますので活発な議論をよろしくお願いします。
事務局	審議会規程第3条第2項により、ここからは会長に議長を務めていただき議事の進行をお願いします。
会長	3 付議事項 (1) 会議録署名者の決定について 審議会規程第5条第3項の規定により、会議録署名者の指名をします。 名簿順で加藤金彦委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。 （「はい」の声あり） 加藤委員、よろしくお願いします。
会長	(2) 愛西市特別職報酬等について では、前回いくつか追加資料をお願いしていましたので追加資料について事務局から説明をお願いします。
事務局	（人事課長説明）
会長	ありがとうございました。今の説明に対して質問はありますか。 では、今日の本題ですが特別職と議員の方の給料月額、報酬月額について概ね方向性を決めることができたらいいかなと思います。
委員	前回の追加資料1で人事院勧告の概要をまとめてもらっていますが、今年も昨年に引き続いて大幅に上がる内容になっています。1級の方は5.2%、それから6級、7級、指定職の方も2.8%改定というのが、今年の人事院勧告です。議論の出発点はその辺りかなと思いますが、いかがでしょうか。 私のところでも人件費が非常に増えておりまして、右肩上がりですね。先程、予算の話もありましたが、これが続くと本当に大丈夫なのかなと心配です。健全な財政運営を将来に向けてやっていただきたいと思います。
会長 委員	ありがとうございます。他にいかがですか。 私としては、特別職や議員の方の給料、報酬というのは市の全体予算の割合からすれば小さくて、財政が厳しいから減らすという事ではなくて、しっかり効果的に活動していただければ良いと思います。
委員	今後、愛西市が色々な施策によって税収を増やしていくということを数年

委員	で大きく変えていく事は難しいと思います。その中で、昨日も愛知県の人事委員会勧告の答申が出ていましたが、世の中はこれだけ物価が上がっていて、生活するのも厳しい状況になってきているというところで、基本的には人事院勧告に沿った額を上げていくのが基本ではないかと思います。また、長期的に考えても、市長さんや議員さんは、多忙の中で本当に色々活動されています。個人的に市議会議員の方から聞くのは、議員の報酬だけでは生活していくことは難しく、他の仕事をしながら、議員活動をしなければやっていけないと、この金額で生活をしていくのは、厳しいという状況の中で、やっぱり議員についても、ある程度報酬を上げていかないと、議員の担い手がいなくなってしまうと困ってしまうので、人事院勧告に沿って上げる必要があると感じています。 市は企業とは違いますが、それでも何か収益になるものをしっかり考えていかないと、どんどん人件費も上がっているしダメだと思います。また、特別職や議員の給料等を見たときにこれだけの責任があるにも関わらず、正直魅力的な金額ではない。政治に携わらなくても、他に稼げるところがあるから、なかなか担い手もいないような状況だと思います。今後、しっかり収益になるものを見つけてその成果を見ながら給料等に反映させていければいいと思います。
委員	私は市の歳出削減の一環だと思いますが、地元の事業に対して出ている補助金が減額されるという説明を聞いて困るなと思っています。ただ、先程も話がありましたが、市議会議員さんが議員報酬だけでは生活が厳しくて他に働かないと無理という話も私は聞いたことがありますので、給料等を上げていくという事は必然だと思います。
委員	私は物価も上がっていますし、給料等を上げた方が良くと思いますが、市の財政状況にも配慮しながら検討する必要があると思います。
委員	財政状況って難しいですが、昔を思い出すと愛知県でも財政状況が悪い時は、トップの方が給料を減らしたり、職員さんも給料を減らす事があったと思います。今後、人口も増えませんし、市の歳出も絞っていく必要があると思いますが、私は一般職の方と同じ考えで人事院勧告に沿って上げれば良いと思います。
委員	私も人事院勧告通り上げていくのが良いと思っています。まず、民間が春闘で、大手は5%以上上がっていて、中堅企業も4.65%くらいの数字で上げていますので、物価上昇とかエネルギー価格の上昇というところで、物価は右肩上がりだと思っていますし、日銀が2%程度の緩やかなインフレ状態が一番好ましいっていうのもありますので、やっぱり物価も上がりつつ、賃金も上がっていくと、緩やかなインフレになると思っています。
委員	物価が上がっている状況がありますので基本的には人事院勧告に沿って、考えればと良いと思っていますが、市として稼ぐ能力を上げていく必要があると思います。
会長	ありがとうございました。皆さんから考えをお聞きしました。私からは少しだけ財政状況について、これは愛西市だけの話ではありませんが、市の歳

会長	出のところで扶助費が高齢化に伴って、20年間で2.5倍位になっています。平成17年は27億だった扶助費が令和6年度で72億です。ここが民間企業と大きく違うところで、行政は福祉サービスを提供する義務があると思います。だから、収入の増減にかかわらず、福祉サービスを提供する時に、それに見合うだけ国から交付税や補助金が増えればいいですが、必ずしもそうではないので、市の中で、扶助費の割合が明らかに増えてきているということになります。これは他に頑張って市独自で色々なことをしたいと思ったときにそこに回せる投資的経費の割合が下がってしまうということになります。収入があっても、払わなければいけない義務的経費の割合が高くなって固定的になってしまうと斬新な事ができなくなるという硬直化が明確に進んでいるかなと思います。そこが民間会社とは大きく違うところだと思います。 皆さんの意見を聞いていると、給料等を上げる必要があるだろうと下げることではないだろうと思います。人事院勧告の基準を参考にするならば指定職の2.8%というのが議論の出発点にできると思いますがいかがでしょうか。
委員	物価も上がっていますし、給料等を上げるべきだと思いますが、市の歳出削減が見込まれる中でそこまで上げていいのかなと思うところもあります。
会長	例えば、人事院勧告の2.8%を使って計算してみると概算でいいのでどれぐらいの金額になりますか。
事務局	市長は96万2,000円を2.8%アップで98万8,936円。 副市長は79万7,000円が、81万9,316円。 教育長は69万5,000円が、71万4,460円。 議長は52万1,000円が、53万5,588円。 副議長は46万8,000円が、48万1,104円。 議員は41万7,000円が、42万8,676円になります。
会長	ちなみに昨年度は、合併後に市長の給料が5,000円しか上がってなかったことを考慮して、2.76%ぐらいの増額改定を我々として答申をさせていただきました。そうすると、一昨年と比べて今回2.8%上げると2年で市長さんは5万3,000円くらい上がることになるので、それを市民の方が見たときにどう評価されるかですね。
委員	なかなか難しいところだと思いますが、人事院勧告の2.8%を変えたら、その根拠を整理するのが大変難しいと思いますので人事院勧告に沿って上げましたという説明を市民にした方が良かったと思います。
委員	私も上げていくことが妥当だと思いますが、昨年でも上げていない団体がありますが今年の他団体の状況はどうですか。
事務局	他市に比べて早い日程で審議会を開催しており、現時点で他市の状況は把握できていません。昨年の状況ですと、資料にもありますとおり人事院勧告の指定職の改定率にあわせて額の改定をされたところが多いと認識していますが、審議会は開催しても、据え置きという結論を出された団体もあります。
会長	上げなかった自治体は、市の財政状況を勘案して、据え置きという判断な

事務局	んでしょうか。 全てを詳細に確認しているわけではありませんが、多くは財政状況を鑑みて据え置きという判断をしているようです。
会長	市の財政状況について、今までの議論に出ていないような留意しなければならないことがあれば教えてほしいのですが。
事務局	人件費や物価の上昇等で当市に限らず、どの団体も歳出が膨らんで厳しい財政状況だと思っています。我々としては、来年度の予算編成においては、歳入規模にあわせた歳出を組むべきというところで準備を進めている状況です。
会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
委員	歳出削減等される中で特別職の給料を上げるべきかどうか、難しい判断だと思います。実際に物価が上がっていることも事実ですしね。
委員	私は財政状況が厳しい中でも、人事院勧告の2.8%という数字を上げていく事が妥当だと思います。私自身は市長さん達の活動を実際に見ることが多いので、よく頑張ってくれているなと理解しているわけですが、一般市民の方全員が給料を上げることに理解してもらえるかという点と難しいと思います。それでも、会社員でも多くの方は給料が上がっていると思うので、理解いただける方も多いと思います。
委員	私も昨年と2年セットで見ると数字としても大きいですし、大幅に上がっていると見られてしまうと思いますが、昨年はこれまでの約20年分をリセットするために大きく増額させたわけで、今年は今年で通常通り人事院勧告の2.8%を千円未満切捨てで増額すれば良いと思います。
委員	私としては、市長始め特別職の方も議員の方も頑張って活動していただいているので人事院勧告通り上げることでもいいと思います。財政状況を鑑みて改定率を下げるにしても参考となる数字もないので2.8%以外の数字は難しいと思います。
委員	企業ですと、駄目な会社が色々な経費を削っていくことが多いですが、上手くいくことは少なく、やっぱり前向きに考えていく必要があって、今の世の中の流れで上げる必要はあると思います。じゃあ、その上げた分をどうやって稼ぐのかとか、そこをもっと力を入れていく必要があると思います。
会長	では、議論も長くなっていますので、結論は出せませんが、今のところの意見では、物価上昇のことを考えると人事院勧告の2.8%アップということベースに考えるべきだと。ただ、やっぱり市の財政状況が厳しいということと、市民目線から見たときには、昨年も大幅に上がっていて、今年もまた大幅に上げるということに対して市民から理解が得られるのかということですね。
委員	それから賞与については3.45月から人事院勧告どおり0.05月増でよろしいでしょうか。
会長	はい。 それから地域手当の話もここまで導入すべきという意見もありますが、少なくとも現状の給料にさらに地域手当を支給するという点では

委員 会長	ないと思いますので、積極的な理由も特にありませんので特に取り扱いを変えることはしないということで良いでしょうか。 はい。 ありがとうございました。次回は、結論を出して答申を市長さんへ渡すところまでお願いしたいと思います。
事務局	(3) その他 では、第3回の会議の開催について、事務局からご説明をお願いします。 次回の開催は、10月28日（火）午前9時30分からを予定しております。
会長	4 閉会 本日の会議はこれにて終了します。 ありがとうございました。